

綾部に移住しました

森 アンドレイさん
玲子さん一家 (八津合町)



「上林の気候や風土にあった作物を見つけたい」とアンドレイさん



綾部に来る前は、ニュージーランドで養蜂をしていました。日本の食料自給率が低いことを知り、日本で農業や養蜂をしようと移住を決意。オーガニックの安全・安心なものを作りたいので、空気の良いゆったりした雰囲気のある場所を探していました。インターネットで綾部市のサポート窓口にとどり着き、現在の物件を購入。上林地区が好きな友人がいたこともあり、縁を感じています。近くには保育園や学校、郵便局もあり、特に不便は感じません。今は市の補助制度を活用し、家を自分たちで改修することも楽しみ。また、子どもたちも「近所の人が優しい」と喜んでいます。

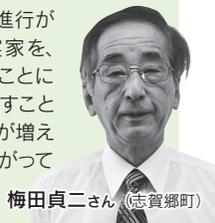
提供者にも嬉しい制度

空き家流動化促進事業

綾部市空き家登録制度に物件を登録し、売買か賃貸の契約を締結した場合、空き家提供者に10万円を支給。

空き家を提供しました

誰も住まなくなり、老朽化の進行が気になっていた志賀郷町の実家を、空き家バンクに登録。貸し出すことにより、思い出ある建物を取り壊すことなく有効活用できました。住民が増えたことで地域の活性化にもつながっています。



梅田貞二さん (志賀郷町)

安心の仲介で実績残す
人々の価値観が多様化する中、田舎暮らしの良が見直され、地方への定住を希望する人が増えています。市は全国に先駆け、平成20年度に定住サポート窓口を設置。ワンストップで本市への定住を支援しています。
また、平成23年度からは、市内の宅地建物取引業者と連携。家の売買や賃貸借契約のトラブルを防ぎ、安心して取り引きできる仕組みを整備しています。
さらに、平成26年度には「綾部市住みたくなるまち定住促進条例」を制定し、市民と事業者、行政の役割を明確化。



都市部での定住セミナーに参加し綾部をPR

空き家の検索が容易に
市は、売買・賃貸を希望されている登録物件を「空き家バンク」のホームページに分かりやすく掲載。また、府北

鍵握る空き家の掘り出し
現在、本市への定住希望者は約700人。その多くが、古民家での生活を希望しています。一方、市の空き家バンクへの登録物件は約60件で、希望者の数に比べ、紹介できる物件が大幅に下回っています。
市は、空き家提供者に10万円を給付(3面)し、所有者側の負担軽減を図っています。また本年度初めて、固定

定住者が過去最多 ゆったり

田園都市で田舎暮らし

昨年度、市の定住サポート窓口を通じた定住者は30世帯79人。窓口開設以降、人数、世帯数ともに過去最多となりました。



私たちがサポートします

初めての地で田舎暮らしをスタートするには、不安が付きもの。本市の窓口では空き家の紹介だけでなく、関係機関と連携して就農・就労支援も行っています。このほか、少しでも早く地域になじめるよう、自治会の概要などをお伝えしたり、あいさつに同行したりするなど、きめ細やかにサポートしています。

また、定住希望者に紹介する空き家も随時募集しています。空き家の活用について、気軽にご相談ください。

定住・地域政策課
課長 蔭田 千夏



資産税の納税通知書に、物件の提供を呼び掛けるチラシを同封。空き家の掘り起しに努めています。詳しくは、定住・地域政策課 ☎(42) 4270へ。

定住支援給付金

水源の里集落に定住した世帯に対して、1か月に5万円(30万円上限)を予算の範囲内で給付。

住宅整備補助金

水源の里集落への転入者が行う住宅の建設や改修・購入経費に対して、90万円を上限に予算の範囲内で補助金を交付。

空き家活用定住促進事業費補助金

登録空き家を購入・賃借した人が行う改修工事に対し、180万円を上限に予算の範囲内で補助金を交付(登録外の空き家は90万円上限)。

各種制度で「綾部暮らし」を応援!